

大学評価学会では、「国際人権A規約第13条問題特別委員会」を設けて、「無償教育の漸進的導入」に係る研究を深めてきました。

昨今「教育無償化」に関わって、消費税の使途変更、教育国債、子ども保険などその財源と制度設計をめぐる論議が活発になっています。公開研究会 2017(6)では広井良典氏をお招きして、教育と「人生前半の社会保障」に関して、「定常型社会＝持続可能な福祉社会」の構想からお話をいただきます。ご参集下さい。

・日 時：2017年12月18日（月） 14:45開場  
15:00～17:30（終了予定）

・場 所：龍谷大学「アバンティ響都ホール」会議室  
〒601-8003 京都府京都市南区東九条西山王町31 アバンティ9階

・アクセス：JR 京都駅八条東口より徒歩約1分  
<https://www.ryukoku.ac.jp/ryudaihall/access/>

## 演 題：「定常型社会＝持続可能な福祉社会」の構想 ——教育と「人生前半の社会保障」にふれつつ——

講 師：広井 良典 氏（京都大学こころの未来研究センター教授）

…専攻領域は公共政策と科学哲学となりますが、大きくは「人間についての探究」と「社会に関する構想」を架橋することが基本的な関心です。そうした問題意識からこれまで行ってきたのは、第一に医療や福祉、社会保障などの分野に関する政策研究で、これは次第に環境、まちづくり、地域再生等の領域に広がっていきました。第二は死生観や時間、ケア、コミュニティなどのテーマに関する原理的な考察で、自分の中では関心の核に位置しています。第三は以上の二つをつなぐもので、具体的には「定常型社会＝持続可能な福祉社会」と呼びうるような社会像の構想です。…

出典：スタッフ紹介 [http://kokoro.kyoto-u.ac.jp/jp/staff/2016/04/post\\_80.html](http://kokoro.kyoto-u.ac.jp/jp/staff/2016/04/post_80.html) より

・定 員：25名（参加希望の方は渡部まで必ずご一報下さい）参加費不要

基盤研究(B)一般 H27-29 課題番号 15H03474

略称「漸進的無償化」科研

<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-15H03474/>

研究代表者 渡部昭男(神戸大学大学院教授)

メール・アドレス [akiowtnb@port.kobe-u.ac.jp](mailto:akiowtnb@port.kobe-u.ac.jp)